

	世田谷区立砦中学校 校長室だより 令和4年 4月 4日 第 2 号 校長 大坂 崇	教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実に深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び	知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

思いとして

教職員の仕事 = **生徒の成長を支えること**

(各生徒の状況に合わせて) **できるようにする**…………… **学習支援**
 (集団の取組を意識させて) **すべきことをする**…………… **行動支援**
 (自主・自立を意識させて) **考えさせる**…………… **自立支援**



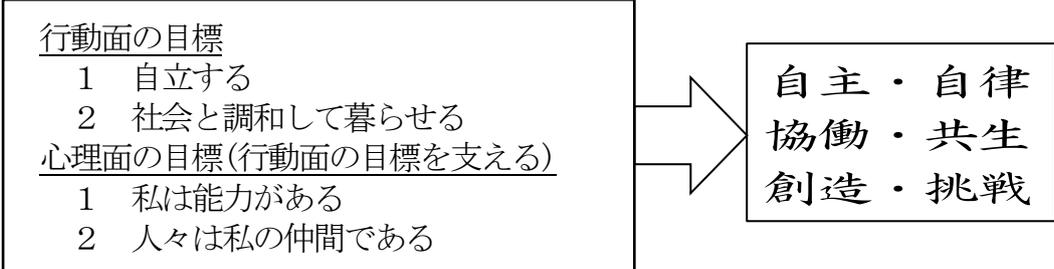
そのために… **指導と援助**

指導 : 「一貫性」と「厳しさ」 ⇒ 規範意識の育成 (教えると考えさせる)
援助 : 「粘り強さ」と「優しさ」 ⇒ 出来るまで援助 (伸ばすと支える)
 ※ 教員が「あの生徒はできない」と繰り返す = 「指導力がない」という宣言
 教員の「プロ」としての発言・行動・指導のプロットを…



教職員としての意識は「*teach*」「*coach*」「*facilitate*」

《参考》 教育の目標 (アドラー心理学による)



※ 行動面 (自立と調和) へのアプローチ
 心理面 (自己受容・他者信頼・他者貢献) へのアプローチ
 ⇒ どちらも 「**指導**」と「**援助**」が両輪

「生徒の成長を支えること」が、学校教職員の最大の使命・職務です。
 その指導や方法は、教職員の個性や経験・置かれた状況により異なります。
 ただし、行う時には、「根拠」「効果性」「効率性」の意識が必要です。(特に「根拠」)
 Monde und Jahre vergehen, aber ein schöner Moment leuchtet das Leben hindurch.
 (年月は過ぎ去る。しかし、美しい瞬間は一生輝き続ける。)